制作　青森県高等学校文化連盟

記事や写真（イラストを含む）は当該校の承諾を得た上で掲載しています。
無断転載を禁じます。



アプリちゃん　令和8年10月13日（火）

県高文連の取り組みを紹介します

文化の力　次代へつなぐ

10/9（金）文化部活動奨励賞受賞式　開催

当令和８年度青森県高等学校文化部活動奨励賞授賞式が１０月９日、青森県教育庁（県庁南棟）教育委員会室で行われ、三本木農業恵拓高校写真部と八戸北高校囲碁将棋部（囲碁部門）が表彰されました。



授賞式で記念撮影をする授賞者ら
（10 月 9 日青森県教育委員会室）

三本木農業恵拓高校・写真部

三本木農業恵拓高校写真部は、昨年度の県高校総合文化祭で最優秀学校賞を受賞。今年度は、同校生徒の作品が全国高校総合文化祭で最高賞にあたる文部科学大臣賞に輝きました。十和田地域の写真部活動をけん引する存在としての貢献も評価されました。



部員たちは「先輩から受け継いだ技術や工夫が今回の受賞につながった。これからも伝統を守りたい」と笑顔を見せていました。顧問は「地域や写真館の方々の協力があってこその受賞。これからも新しい歴史をつくっていきたい」と話していました。

八戸北高校・囲碁将棋部

八戸北高校囲碁将棋部は、高校から囲碁を始める生徒が多い中、過去４年間にわたり女子団体戦や男女個人戦で全国大会出場を果たしてきました。安定した部員数を維持し、今後の活躍も期待できる点が高く評価されました。



受賞した生徒は「先輩方のおかげで連続出場を続けられた。感謝の気持ちでいっぱい」と喜びを語りました。顧問は、これまで部を支えてきた一人の卒業生への思いを涙ながらに語り、「今回の受賞を報告したい」と話していました。

県教育庁　坂上理事は「部の伝統は先輩から後輩へ受け継がれるもの。人とのつながりを大切にしながら、次の世代へバトンを渡してほしい」と激励しました。